

山行報告 【至仏山 2228m (群馬県)】

日時：令和5年（2023年）7月17日（月）夜行日帰り 【個人】 提出者＞眞鍋 英樹

メンバー：男・1名(眞鍋) 女・1名(知人) 合計 2名

行き：7/16川越23:35(バス)⇒04:10尾瀬戸倉04:45(バス)⇒05:20鳩待峠

行程：7/17鳩待峠05:30→→06:20山ノ鼻→→大堀川往復→→山ノ鼻09:00→→13:20至仏山
13:50→→14:30小至仏山→→16:20鳩待峠

帰り：鳩待峠(バス)16:40⇒17:10尾瀬戸倉17:15(バス)⇒18:37沼田(JR)19:02====(乗換え)
え)====20:26大宮

装備：ツェルト、ヘッドランプ、ストック、雨具、防寒着、コンパス、地図、ガスセット、
行動食・非常食、スマホ、

.....

～～感想～～

7月に入り、各所で線状降水帯による災害が発生していたが、バス会社に災害の情報はなく通常運行とのこと。予報も快晴。術後の膝をテーピングでガチガチに固め、いざ至仏山へ。

結果から言うと、目的のおゼソウは見れたが、睡眠不足に暑さが拍車をかけほぼ熱中症状状態で山頂を目指した。夜行バスは最前列でつま先が伸ばせず、これがキツイ。さらに、休憩・運転手交代・沼田駅・尾瀬戸倉・大清水・尾瀬戸倉、と何度も停車しドアが開く。近場の夜行バスは要注意である。



久しぶりの夏の尾瀬ヶ原は、清々しかった。ただ、ニッコウキスゲは見事なほどなくなっていた。昔、山ノ鼻からは登れなかったのが私は初至仏山である。木の階段が非常に多く改修の大変さを感じた。振り返ると燧ヶ岳と尾瀬ヶ原。徐々に変わるこの風景が高度感を増す。山頂直下から小至仏山までは花が絶えず、楽しませてくれた。おゼソウは10cmくらいでツクシのよう。派手さはないが目が慣れると各所で小さく群生していた。

ご褒美に鳩待峠で特産の花豆のソフトクリームを食べた。今日は「おつかれ山」でした！

